

Title	意匠学会会報 No.69/大会報告/総会報告/一般会務報告
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2011, 58, p. 124-132
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/53485
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

大会報告

第53回大会は、平成23年7月16日(土)と17日(日)の2日間、国立民族学博物館において開催された。詳細は以下のとおり。

会場：国立民族学博物館 第3・5セミナー室
会期：平成23年7月16日(土)～17日(日)
総会・研究発表会：第5セミナー室
パネル発表懇談会：第3セミナー室
懇親会：「レストランみんぱく」
大会参加費：1,000円(会員・非会員・学生とも、資料不要の学生は無料)
懇親会費：4,000円

【プログラム】

第1日目(7月16日) 10:00～10:30 受付
10:30～10:45 開会の挨拶
意匠学会会長 藤田治彦
国立民族学博物館館長 須藤健一

〔第1セッション〕

- ・日本とイギリスの住環境
座長：塚田耕一(杉野服飾大学)

10:45～11:15 研究発表01
「ヴォーリズの建築活動にみる特色ー「近江ミッション住宅」の環境について」
山形政昭(大阪芸術大学)

11:15～11:45 研究発表02
「集落共同墓地と生活空間の立地選定の特徴に関する考察ー三重県志摩地方の神島、菅島、石鏡の集落を事例にー」
下田元毅(大阪芸術大学)

11:45～12:15 研究発表03
「1900年の「無地」ーベイリー・スコットの住宅論と実作例の考察ー」
吉村典子(宮城学院女子大学)

休憩65分(自由時間に民博本館展示場見学可)

〔エクスカージョン〕

13:20～14:20(民博本館展示場見学)
民博本館オセアニア展示
(展示解説：白川千尋准教授)
民博本館アメリカ展示
(展示解説：伊藤敦規助教)

〔総会〕 14:30～15:30

〔シンポジウム〕 15:30～17:30

「手工芸とデザイナーー伝統的形態と現代的展開」
総合司会：上羽陽子(国立民族学博物館)
発表者：

天貝義教(秋田公立美術工芸短期大学)
「近代デザインとモラル」

土田真紀(帝塚山大学)
「日本の近代工芸と『伝統』」

伊藤敦規(国立民族学博物館)
「重なり合う二つの『伝統』ー米国先住民ホピの宝飾品産業におけるデザインの応用と流用」

上羽陽子(国立民族学博物館)
「伝統をめぐる戦略的表現ーインドの女神儀礼用染布を事例に」

〔懇親会〕 17:45～19:45「レストランみんぱく」

第2日目(7月17日) 10:00～10:30 受付

[第2セッション]

・機械からデザイナー－美学から実践へ
座長：伊原久裕(九州大学)

10:30～11:00 研究発表04

「ル・コルビュジエから映画へ－中井正一の
機械美学のモデルについて」
伊集院敬行(島根大学)

11:00～11:30 研究発表05

「タイポグラフィの美学」高安啓介(愛媛大学)

11:30～12:00 研究発表06

「上海版『独立新聞』の発刊に伴う印刷メ
ディアの導入とその展開」
劉賢国(筑波技術大学)

休憩60分(自由時間に民博本館展示場見学可)

[パネル発表懇談会] 13:00～13:50

座長：塚田章(京都市立芸術大学)

パネル発表01 島先京一(成安造形大学)

「みんなで作るアート・インсталレーション－
知的障がい児、美大生、一般ボランティアによる
共犯的ものづくり遊びの可能性－」

パネル発表02 侯芳芳(京都精華大学大学院)

「食空間「聚楽亭」－現代キッチンシステム提案」

パネル発表03 大森正夫(京都嵯峨芸術大学)

「嵯峨八景図屏風～やまと絵で描く「日本の
原風景」～」

パネル発表04 川島洋一(福井工業大学)

「福井工業大学キャリアセンター」

パネル発表05 川島洋一(福井工業大学)

「福井工業大学パンフレットのディレクション」

パネル発表06 小野山和代(大阪芸術大学)

「CONSTRUCTED TEXTILES考「しみし
わたるみ」」

パネル発表07 藪晶子(広告丸)

「光のかたち」

パネル発表08 岡達也(京都工芸繊維大学大学院)

「onoma－伝統的イメージの現代における
可能性の検討」

[第3セッション]

・プロダクト・デザインと色彩

座長：面矢慎介(滋賀県立大学)

14:00～14:30 研究発表07

「20世紀アメリカの量産型ギターのデザイン
と彩色－とりわけギブソン社、フェンダー社の場合」
春木有亮(日本学術振興会)

14:30～15:00 研究発表08

「ガエ・アウレンティにみるプロダクト・デザ
インとアート」
櫻間裕子(日本学術振興会特別研究員)

15:00～15:30 研究発表09

「共感的アプローチによる色の伝達方法の
提案」 吉野たか美(愛知産業大学大学院)

休憩15分

[第4セッション]

・日本の絵画における意匠

座長：廣田孝(京都女子大学)

15:45～16:15 研究発表10

「工芸デザインとしての抽象画－堂本印象
(1891-1975)に関する一考察」
土金康子(Parsons the New School of Design)

16:15～16:45 研究発表11

「狩野尚信画業の一考察」
寺本健三(京都工芸繊維大学)

16:45～17:00 閉会の挨拶

意匠学会会長 藤田治彦

総会報告

第53回総会は、平成23年7月16日(土)、
国立民族学博物館 第5セミナー室において
開催された。

事務局より、出席者が充足数に達し、総会
が成立する旨の報告があった。議事進行に
先立ち、藤田会長より挨拶があり、続いて議
長に関東学院大学の藤本憲太郎会員が選出
された。

議題 1) 2010 (H.22) 年度 事業報告、
収支決算報告及び会計監査報告

[事業報告]

1. 大会の開催 (総会を含む)
第52回大会 H.22.7.31 (土)・8.1 (日)
於 関東学院大学 関内メディアセンター
2. 研究例会の開催
第202回 H.22.5.15 (土)
於 大阪藝術大学 ほたるまちキャンパス
第203回 H.22.9.4 (土)
於 京都工芸繊維大学 60周年記念館
第204回 H.22.11.13 (土)
於 芦屋大学 大阪キャンパス
第205回 H.23.2.12 (土) 於 京都精華大学
3. 分科会 : 開催なし
4. 刊行物 : 『デザイン理論』55号、会報66号を発行
5. 会員名簿の改訂・印刷 : 役員改選に伴

- い平成23年度に持ち越し
6. 役員選挙 : 平成23年3月実施
 7. 会員の募集 : 平成22年度末現在で、正会員321名、法人会員0件、名誉会員2名
 8. 広報活動の推進
 9. 他学会との交流 : 日本学術会議、芸術学関連学会連合、日本デザイン学会など
 10. 意匠学会賞各賞の授与 : 該当なし
 11. 役員会の開催 : 5回

[収支決算報告]

今井会計より、平成22年度収支決算が報告された。(下表参照)

[会計監査報告]

小山格平・足立裕司両会計監査により、適正に処理されているという報告が確認された。

・議題 1について異議なく、了承された。

平成22年度
収支決算
(平成23年7月16日承認)

収入の部		支出の部					
前年度よりの繰越金	7,041,325	『デザイン理論』編集費	80,000				
会員会費	2,024,000	『デザイン理論』印刷費	375,375				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>正会員</td> <td>8,000 × 253 = 2,024,000</td> </tr> <tr> <td>法人会員</td> <td>15,000 × 0 = 0</td> </tr> </table>	正会員	8,000 × 253 = 2,024,000	法人会員	15,000 × 0 = 0		大会補助費	130,337
正会員	8,000 × 253 = 2,024,000						
法人会員	15,000 × 0 = 0						
		例会費	43,789				
		分科会費	0				
		ホームページ作成・維持費	94,500				
		学会賞等奨励金	0				
		芸関連会費	15,000				
雑収入	0	事務費	10,015				
利息	1,042	会報印刷費	0				
		旅費	0				
		予備費	0				
		学会支援センター委託料	529,682				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>業務委託手数料</td> <td>307,536</td> </tr> <tr> <td>業務委託立替金</td> <td>222,146</td> </tr> </table>	業務委託手数料	307,536	業務委託立替金	222,146	
業務委託手数料	307,536						
業務委託立替金	222,146						
		選挙関連業務費	39,134				
		次期繰越金	7,748,535				
計	9,066,367	計	9,066,367				

議題 2) 2011 (H.23) 年度 事業経過報告および予算 (当初及び補正)

[事業経過報告]

1. 大会の開催 (総会を含む)
第53回大会 H.23.7.16 (土)・17 (日)
於 国立民族学博物館
2. 研究例会の開催
第206回 H.23.5.14 (土) 於 成安造形大学
第207回 H.23.9.3 (土) 於 大阪工業大学 (予定)
第208回 H.23.11月 予定

第209回 H.24.2月 予定

3. 分科会 (デザイン史分科会など) : 2回
4. 刊行物 : 『デザイン理論』56・57・58号、
会報67・68・69号を発行
5. 会員名簿の改訂・印刷
6. 会員の募集 (正会員、法人会員)
7. 広報活動の推進
8. 他学会との交流 (日本学術会議、芸術学関連学会連合、日本デザイン学会など)
9. 意匠学会賞各賞の授与
10. 役員会の開催 : 6回

平成23年度
当初予算

(平成22年7月31日承認)

収入の部		支出の部					
前年度よりの繰越金	7,006,325	『デザイン理論』編集費	80,000				
		『デザイン理論』印刷費	1,200,000				
会員会費	2,655,000	大会補助費	150,000				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>正会員</td> <td>8,000×330=2,640,000</td> </tr> <tr> <td>法人会員</td> <td>15,000×1=15,000</td> </tr> </table>	正会員	8,000×330=2,640,000	法人会員	15,000×1=15,000		例会費	40,000
正会員	8,000×330=2,640,000						
法人会員	15,000×1=15,000						
		分科会費	10,000				
雑収入	0	ホームページ作成・維持費	100,000				
		学会賞等奨励金	150,000				
		芸関連会費	15,000				
		事務費	15,000				
		会報印刷費	0				
		旅費	0				
		予備費	50,000				
		学会支援センター委託料	580,000				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>業務委託手数料</td> <td>330,000</td> </tr> <tr> <td>業務委託立替金</td> <td>250,000</td> </tr> </table>	業務委託手数料	330,000	業務委託立替金	250,000	
業務委託手数料	330,000						
業務委託立替金	250,000						
		次期繰越金	7,271,325				
計	9,661,325	計	9,661,325				

平成23年度
補正予算案

(平成23年7月16日承認)

収入の部		支出の部					
前年度よりの繰越金	7,748,535	『デザイン理論』編集費	80,000				
		『デザイン理論』印刷費	1,400,000				
会員会費	2,568,000	大会補助費	150,000				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>正会員</td> <td>8,000×321=2,568,000</td> </tr> <tr> <td>法人会員</td> <td>15,000×0=0</td> </tr> </table>	正会員	8,000×321=2,568,000	法人会員	15,000×0=0		例会費	40,000
正会員	8,000×321=2,568,000						
法人会員	15,000×0=0						
		分科会費	10,000				
雑収入	0	ホームページ作成・維持費	300,000				
		学会賞等奨励金	150,000				
		芸関連会費	15,000				
		事務費	15,000				
		会報印刷費	0				
		旅費	120,000				
		予備費	50,000				
		学会支援センター委託料	580,000				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>業務委託手数料</td> <td>330,000</td> </tr> <tr> <td>業務委託立替金</td> <td>250,000</td> </tr> </table>	業務委託手数料	330,000	業務委託立替金	250,000	
業務委託手数料	330,000						
業務委託立替金	250,000						
		名簿印刷費	250,000				
		芸関連シンポジウム	100,000				
		次期繰越金	7,056,535				
計	10,316,535	計	10,316,535				

[当初予算及び補正予算案] (※ 前ページの表)
 今井会計より、平成23年度当初予算及び補正予算案が説明された。

・議題 2について異議なく、了承された。

議題 3) 2012 (H.24) 年度 事業計画案および予算案

[事業計画案]

1. 大会の開催 (総会を含む) : 1回
2. 研究例会の開催 (見学会を含む) : 4回
3. 分科会 (デザイン史分科会など) : 2回
4. 刊行物の刊行 : 『デザイン理論』59・60・61号、会報70・71・72号
5. 会員の募集 (正会員、法人会員)
6. 広報活動の推進
7. 他学会との交流 (日本学術会議、芸術学関連学会連合、日本デザイン学会など)
8. 意匠学会賞各賞の授与
9. 役員会の開催

[予算案]

今井会計より、平成24年度予算案の説明

があった。

[質疑]

未払い分の会費を予算額に含めていないのはなぜかという質問があった。

これについて、慣例的に意匠学会では予算額に含めてこなかったことが説明された。

・意見交換の後、議題 3について異議なく、了承された。

議題 4) 芸術学関連学会連合報告

藤田会長より、芸術学関連学会連合第6回公開シンポジウムが、6月18日(土) 13:00 ~ 17:30 大阪大学会館講堂において開催され、意匠学会会員諸氏を始め多数の参加を得て活況であった旨の報告があった。

議題 5) その他

藤田会長より、幹事を廃止し、役員数を全体で30名(すべて委員)とする案が提案されたが、改正案の準備が不十分だったため、次年度の総会に再び諮ることとされた。

平成24年度
 予算案
 (平成23年7月16日承認)

収入の部		支出の部					
前年度よりの繰越金	7,056,535	『デザイン理論』編集費	80,000				
会員会費	2,568,000	『デザイン理論』印刷費	1,400,000				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>正会員</td> <td>$8,000 \times 321 = 2,568,000$</td> </tr> <tr> <td>法人会員</td> <td>$15,000 \times 0 = 0$</td> </tr> </table>	正会員	$8,000 \times 321 = 2,568,000$	法人会員	$15,000 \times 0 = 0$		大会補助費	150,000
正会員	$8,000 \times 321 = 2,568,000$						
法人会員	$15,000 \times 0 = 0$						
雑収入	0	例会費	40,000				
		分科会費	10,000				
		ホームページ作成・維持費	100,000				
		学会賞等奨励金	150,000				
		芸関連会費	15,000				
		事務費	15,000				
		会報印刷費	0				
		旅費	120,000				
		予備費	50,000				
		学会支援センター委託料	580,000				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>業務委託手数料</td> <td>330,000</td> </tr> <tr> <td>業務委託立替金</td> <td>250,000</td> </tr> </table>	業務委託手数料	330,000	業務委託立替金	250,000	
業務委託手数料	330,000						
業務委託立替金	250,000						
		次期繰越金	6,914,535				
計	9,624,535	計	9,624,535				

一般会務報告

平成23年度 第1回役員会 議事録

日時：平成23年4月9日(土) 13時00～

場所：京都精華大学 本館502号室

出席者：今井美樹、佐藤敬二、佐藤博一、
島先京一、関哲洋、谷本尚子、塚田章、
塚田耕一、藤田治彦、藪亨、山口良臣、
横川公子、渡邊眞(以下全て50音順、敬称略)

〔審議事項〕

議題 1. 前回議事録の承認

承認された。

議題 2. 入退会希望者の承認

承認された。

議題 3. 各種委員の決定

副会長について、『デザイン理論』担当の
並木誠士、例会・大会を担当する島先京一、
両会員が会長から提案され、承認された。

意匠学会役員：

今井美樹、伊原久裕、大森正夫、面矢慎
介、榑勝彦、佐藤敬二、佐藤博一、島先京
一、関哲洋、谷本尚子、塚田章、塚田耕
一、並木誠士、廣田孝、藤田治彦、森仁
史、藪亨、山口良臣、横川公子、渡邊眞
・編集委員会

伊集院敬行(副委員長)、大森正夫、面矢慎
介、佐藤敬二、島先京一、多田羅景太、常
見美紀子、廣田孝、三木順子、藪亨、山口
良臣、横川公子、吉村典子(委員長)

・学会賞選考委員

伊原久裕、今井美樹、榑勝彦、塚田章(副
委員長)、塚田耕一、永井隆則、森仁史、
山形政昭、横川公子(委員長)、渡邊眞

・広報委員会

佐藤博一、関哲洋(会報担当)、高井節子、
谷本尚子

・例会・大会コーディネーター

今期新たに設置が提案され、承認された。

年間(長期)計画、例会大会のマニュアルの
整備、例会の司会進行や会場準備などで協
力、発表要旨の集約を担う。

上羽陽子、神野由紀、島先京一(リーダー)

議題 4. 幹事の決定

委員会の活動を考慮しながら、幹事10名が
決定された。

伊集院敬行、上羽陽子、神野由紀、高井
節子、多田羅景太、常見美紀子、永井隆
則、三木順子、山形政昭、吉村典子

会計監査：伊東徹夫、末包伸吾

議題 5. 役員体制について

会長から10人委員会での議論を踏まえて、
幹事は10名を選び、7月の総会で委員に昇
格するという提案がなされた。総会では、意
匠学会役員選出規定第1条(4)の関連箇所
を「委嘱する委員の数は20人を超えることは
できない」と改正される予定である。

議題 6. HP及びメールアドレスの変更について

本部事務局のメールアドレスをGmailとす
ることが承認された。

HPのサーバーについては、現在検討中。

議題 7. 『デザイン理論』の発行に関する補正
予算の提案

56号5月、57号はほぼ同時に刊行する予
定。58号は9月ごろに予定できる。1号あたり
の予算の件を検討した。

会長より、今期の編集委員長と副委員長は
非常に遠方の為、旅費を出してほしいという
提案がなされた。慣例にするのではなく、年
度毎の予算計上という方針で会計処理するこ
とになった。路線金額を調べ、大まかな金額
を決めた。

議題 8. 芸術学関連学会連合シンポジウムに
ついて

今回の芸関連シンポジウムは、意匠学会と
日本デザイン学会が協力し、大阪大学で
「アートとデザイン」をテーマに開催されるこ
とが紹介された。意匠学会からは、竹内有子
会員と森仁史会員(美術史学会)がパネリスト
候補となっている。

意匠学会、日本デザイン学会の双方で、各
5万円程度のシンポジウム用印刷費の計上が
提案され、承認された。

議題 9. 東日本大震災への対応

『デザイン理論』58号までは梅宮委員長の
下で編集されるべきものであったが、現在は
吉村典子編集委員長が行っている。奥付を
どうするかが議題として出された。編集責任
者という名前で編集後記を書いていたと
いう意見がだされ、最終的にはご本人に委ね
ることが承認された。

議題10. 第206回例会について

場所：成安造形大学

日時：5月14日

発表者：

奈良葉子(京都工芸繊維大学大学院)

谷本尚子(大阪人間科学大学)「ヴフテマスの
デザイン教育(1)」

議題11. 第53回意匠学会大会について

実行委員会から大まかなプログラムが提案
された。

16日午前 研究発表3本

昼 役員会

午後 エクスカーション 民博展示見学

シンポジウム テーマ：「手工芸とデザイン」

総合司会：上羽陽子

パネリスト案：伊藤、天貝、畑

懇親会

17日午前 研究発表3本

昼食

午後 研究発表3本

総会が最後に設定されていたが、出席数な
どで会議が成立しない可能性があることが指
摘され、二日目の昼食後に設定しなおす代
案が実行委員会から示された。

研究発表のレジュメ締切は5月10日と確認
された。パネル発表については、募集要項が
まだ作られていないことを含め、検討課題と
された。

[報告事項]

今年度の藝術学関連学会連合シンポジウム
は、「アートとデザイン」というテーマで、意匠
学会と日本デザイン学会との共同主催であ
り、多くの参加が呼びかけられた。

平成23年度 第2回役員会 議事録

日時：平成23年5月14日(土) 12時30～

場所：成安造形大学 聚英館2階小会議室

出席者：伊集院敬行、佐藤敬二、佐藤博
一、島先京一、関哲洋、竹内幸絵、谷本
尚子、塚田章、永井隆則、並木誠士、藤
田治彦、藪亨、山形政昭、山口良臣、吉
村典子(以下全て50音順、敬称略)

[審議事項]

議題 1. 前回議事録の承認

一部修正の上、承認された。

議題 2. 会計報告および総会資料の確認

一部修正の上、承認された。なお、ウェブ
サイト関連の予算について、外部のサーバへ
の移行及び移管作業等が必要である事が申
請され、補正予算として30万円の計上が承
認された。

議題 3. 第53回大会について

大会実行委員会から報告があった。

会場：国立民族学博物館

日時：7月16日(土)、17日(日)

発表候補者：

[研究発表エントリー]

- ・吉野たか美(愛知産業大学大学院)「共感的
アプローチによる色の伝達方法の提案(仮題)」
- ・高安啓介(愛媛大学)「タイポグラフィの美学」
- ・劉賢国(筑波技術大学)「上海版『独立新聞』
の発刊に伴う印刷メディアの導入とその展開」
- ・土金康子(Parsons the New School of Design)
「工芸デザインとしての抽象画—堂本印象
(1891-1975)に関する一考察」
- ・春木有亮(日本学術振興会)「20世紀アメリ
カの量産型ギター—のデザインと彩色—とりわ
けギブスン社、フェンダー社の場合」

[パネル発表エントリー]

- ・島先京一(成安造形大学)「みんなで作る
アート・インスタレーション—知的障がい児、
美大生、一般ボランティアによる共犯的もの
つくり遊びの可能性—」
- ・候芳芳(京都精華大学大学院)「食空間「聚
楽亭」—現代キッチンシステム提案」

- ・大森正夫(京都嵯峨芸術大学)「嵯峨八景 図屏風～やまと絵で描く「日本の原風景」～」
- ・川島洋一(福井工業大学)「福井工業大学 キャリアセンター」
- ・川島洋一(福井工業大学)「福井工業大学 パンフレットのディレクション」

プログラム 別紙参照

研究発表者枠に余裕があったので、主な所属機関から発表者を追加することが決定された。5月31日〆切。

大会運営について：

学会員以外の講演者への謝礼について：

ある程度ルールを決めて欲しいという申し出に対し、交通費、実費、謝礼などを支給することが出来る。あるいは懇親会には無料でお招きするなどの方法でどうか。などの意見があった。

参加費について：

会員、非会員ともに1000円、学生無料(ただし、資料をもらう場合には1000円)。

懇親会費3000円。

議題 4. 9月例会について

会場：大阪工業大学

日時：平成23年9月3日(予定)

発表候補：未定

議題 5. 11月例会について

会場：京都市立芸術大学

日時：未定

発表候補：未定

議題 6. 2月例会について

会場：大阪人間科学大学

日時：未定

発表候補：未定

議題 7. 学会賞委員会および編集委員会のメンバー改正について

学会賞委員の規定を確認、2期以上の継続委員はご辞退いただくことが確認された。

議題 8. 入退会について

今回案件なし。

議題 9. 『デザイン理論』の表紙デザインについて

役員会参加者による投票の結果、大阪芸術大学案 6票、大阪工業大学案 3票であった。

議題10. その他

芸術学関連学会連合シンポジウムの掲示ポスター、チラシを希望者に配布した。

幹事は役員会に参加することが決定した。

[報告事項]

1. 各種委員会報告

編集委員会：

56号は最後のデータ入校待ちで、5月末か6月には刊行予定である。57号は発行準備完了。58号は8月頃の予定。

例会、大会の発表要旨の集約を多田羅景太委員が担当するとの報告がなされた。

学会賞委員会：

論文作品賞の担当者をそれぞれ5人ずつという方向で検討中である。

賞金の代わりに記念品を副賞としてお渡しする提案に対して、きちんとしたデザインの記念品を考えるならば、予算、保管方法などを考えなければならないという意見が出され、検討中であると報告された。

広報委員会：

サーバーの移管などの準備を勧めている。詳細については、次回の役員会で報告いただく。

2. 新学会メールが次のアドレスに変更されることを報告した。

japansocietyofdesign@gmail.com

平成23年度 第3回役員会 議事録

日時：平成23年7月16日(土) 12時30～

場所：国立民族学博物館第2セミナー室

出席者：伊集院敬行、伊原久裕、今井美樹、上羽陽子、大森正夫、面矢慎介、佐藤敬二、島先京一、神野由紀、関哲洋、竹内幸絵、多田羅景太、谷本尚子、塚田耕一、並木誠士、藤田治彦、三木順子、藪亨、山形政昭、山口良臣、横川公子、吉村典子(以下全て50音順、敬称略)

[審議事項]

議題 1. 前回議事録の承認
承認された。

議題 2. 総会資料の確認
別紙資料にて確認された。

議題 3. 9月例会について
会場：大阪工業大学
日時：平成23年9月17日
発表候補者：多田羅景太、もう一人武庫川女子大学か大阪大学から発表者を探す事になった。
役員会：12時00分から開催

議題 4. 11月例会について
会場：京都市立芸術大学
日時：平成23年11月12日または26日
発表候補者：
岡達也(京都工芸繊維大学)「京都高等工芸学校生徒作品における西洋デザインの受容と伝統的デザインの変容」
もう一人は未定。

議題 5. 2月例会について
会場：大阪人間科学大学
日時：平成24年2月4日
発表候補者：未定

議題 6. 編集委員会について
56号、57号の印刷が済み、58号まで出版可能。年内に3冊出版が可能となった。
印刷の前に執筆者数を事務局に連絡頂き、印刷部数を決めることになった。

会報担当者の引き継ぎの詳細について、タイミング等が確認された。

議題 7. デザイン史フォーラムについて
会長から意匠学会との関係について説明があり、今後の方針を検討したいとの申し出があった。

議題 8. 入退会者について
入会者が認められた。

議題 9. その他
展覧会の案内をホームページに掲載してほしいとの申し出が会員からあり、役員会で審議の上、納得できる内容であると承認されればリンクを貼ることが決定された。
前回役員会で新しい表紙デザインの担当者が決定され、デザイン理論59号から採用されることが報告された。

[報告事項]

1. 各種委員会報告
学会賞委員会：
55、56号分は済み。58号(55、56号の結果掲載)、59号(57、58号の結果掲載)、61号(59、60号の結果掲載)。

会報担当連絡先 〒670-0092 姫路市新在家本町1-1-12 兵庫県立大学環境人間学部 メディアデザイン研究室 関 哲洋 宛 e-mail: seki@shse.u-hyogo.ac.jp TEL. 079-292-9332 (研究室直通) FAX. 079-293-5710 (総務課)
--